

若林書道チーム

代表：富士大成

目次

1. 団体紹介
2. 活動目的
3. 助成事業実績とその効果
4. 今後の課題・展望

団体紹介

私たち「若林書道チーム」は学生ボランティア団体「てらいく」から派生したボランティアチームです。

今回は、連坊小路小学校と荒町小学校の児童を対象にした書道体験イベント「若林書道フェスティバル」を開催しました。他にも、「てらいく」と共に荒町児童館で子どもたちと交流するボランティア活動を行っています。



活動目的

現在地域で問題視されている事として、

「体験格差」があります。「体験格差」とは家庭の事情で社会体験や自然体験、伝統・文化に触れる体験ができる子と、できない子の間に格差が生まれてしまうことを言います。

そこで私たちができる事として、書道を通して体験格差の是正を目的とした書道の体験イベントを開催しました。

助成事業実績とその効果

今回の書道体験イベントは、子どもたちに気楽に参加して
楽しんでもらいたいということからサブタイトルを設けました。

若林書道フェスティバル

「ココロを文字に！ワクワク！書道体験！」

がサブタイトルとなります。

今回のイベントはテーマなどは設けず子どもたちに自由に書きたいことを書いてもらったので、
気難しいと思われがちな書道でも楽しんでもらうことができました。

私たちも書道をするのは久しぶりだったので、子どもたちと一緒に楽しむことができました。

助成事業実績とその効果

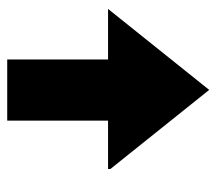
今回のイベントを通して子どもたちの「書道」に対するイメージを
変えることができたと思います。

以前,,,

つまらない

難しそう、、、

といった、
ネガティブなイメージ



イベント後,,,

楽しかった！！

またやりたい！！

といった、
ポジティブなイメージへ

子どもたちのマイナスなイメージを
払拭するため、音楽をかけながら書
いたり、班を変えて色んなメンバー
と交流したりと様々な工夫をして「
書道」は楽しいというイメージを持
ってもらえるよう努力しました。



今後の課題・展望

今後、活動が続けていくにあたり、今回明らかになった問題点を踏まえより円滑な運営を目指したい。

具体的な問題点として、

①リハーサルができなかった

②広告が足りなかった

が、挙げられる。

改善点として、

①今回は1月に開催ということもあり、メンバーが集まりにくかった。

そのためスケジュール管理などを徹底する必要がある。

②チラシの完成が実施日から一か月前だったので、宣伝しきれない部分があった。広告は早め早めの意識で行う。

今後の課題・展望

若林書道チームとしての活動は今回で最後になりますが、
これからも地域の子どもたちに書道を通して表現することの
楽しさや字を書くことの楽しさを知ってもらうとともに
伝統文化への関心を深める場を提供することを目標に活動をしていきたいです。

ご清聴ありがとうございました。